

平成27年10月

京都市こどもの感染症

RSウイルス感染症



どんな病気なの？

に注意しましょう！

- ☺ 病原体はRS（アールエス）ウイルス。聞きなれない名前ですが、感染すると急性の呼吸器疾患を起こします。RSウイルスには多くの種類があるため、何度も感染する可能性があります。
- ☺ 例年、秋から冬（9月～翌年1月）にかけて流行します。
- ☺ 症状は発熱、鼻水、せきなどの上気道炎症状が数日間続きます。生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ全員の乳幼児がRSウイルスに感染するといわれています。初めて発症した場合（特に生後数週間～数カ月間）は重症化しやすく、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。低出生体重児や基礎疾患のあるお子さんは、より重症化のリスクが高いといわれています。
- ☺ 経過は、感染してから2～8日間程度で現れ、治癒（ゆ）までの期間は通常7～12日です。

どうやって感染するの？

- ☺ 感染している人のせきやくしゃみのしぶき（ウイルスを含む。）を直接吸い込むことにより感染 → 飛沫感染
- ☺ 感染している人との直接の濃厚接触や感染者のせきやくしゃみなどのしぶき（ウイルスを含む。）がついている手指や物を触ったり、口に入れたりすることにより感染 → 接触感染

予防方法は？

- ☺ 日常的にお子さんに接する方で、せきなどの呼吸器症状がある場合、マスクを着用しましょう。
- ☺ 子どもたちが日常的に触れるおもちゃなどをこまめに消毒しましょう。消毒にはアルコール及び塩素系消毒が効果的です。
- ☺ 流水と石けんでしっかり手洗いを行い、手指のアルコール消毒も行いましょう。

※消毒剤はお子様の手の届かないところに保管してください。

治療方法は？

- ☺ RSウイルスの特効薬がないため、基本的には対症療法（症状を和らげる。）です。気になる症状があれば、**早めに医療機関を受診してください。**

京都市印刷物 第275009号 平成27年10月 掲示期間：平成27年10月1日～10月31日

発行 京都市衛生環境研究所（TEL:075-312-4942 FAX:075-311-3232）

衛生環境研究所のホームページからもご覧になれます



◆感染症に関するお問い合わせ

○お近くの保健センター（健康づくり推進課）

○保健医療課（TEL:075-222-4244 FAX:075-222-3416）